

令和6年度 第1回 男女共同参画推進審議会

日 時:令和6年8月19日(月)
午後1時30分～午後3時 00分
場 所:瑞穂市役所 穂積庁舎 大会議室

1. 開会

2. 議題

(1)第2次男女共同参画基本計画(概要)への意見集約結果

(2)第2次男女共同参画基本計画(素案)について

(3)その他 連絡事項

3. 閉会

瑞穂市 2 次男女共同参画基本計画（後期計画）

審議会委員意見書集約結果

1 目標値の数値修正について

成果指標 1～17について、R7以降の目標値を上方修正・維持・下方修正から、ご検討いただきました。

▶集約結果（別紙）

- ・ 15名の審議会委員から、提出された意見書は12名分。
- ・ 上方修正・維持・下方修正のうち票数の多い意見を採用。
- ・ 17ある指標の内、上方修正が4、維持が13となりました。

（1）上方修正となった指標

成果指標	現状値	目標値	目標値	担当課
	(R5)	(現状)	(新)	
2 人権尊重に関する啓発事業の回数	12回	5回		地域福祉高齢課
4 男女共同参画に関するセミナー、講演の実施回数	4回	4回		総合政策課
15 各種イベントの際のDVに関する広報啓発活動の回数	2回	3回		子ども支援課
17 DV被害者が関係機関等に相談した割合	26.5%	40.0%		子ども支援課

《新目標値の設定》

成果指標の目標値を上方修正するにあたり、目標値を新たに設定します。
各担当課と協議・調整するにあたり審議会としての意見を頂戴します。

2 具体的施策について

後期計画で追加を提案させていただいた「具体的施策」について、ご意見を頂戴しました。

基本目標Ⅰ 男女共同参画の意識を高め合うまちづくり

1. 男女共同参画の視点に立った制度・慣行の見直し、意識啓発

③アンコンシャス・バイアスの解消に向けた普及啓発

- ①世代により捉え方に差があると感じます。どの世代にも理解が進むように広報などにセルフチェックシート（簡易なもの）を載せて啓発してはどうでしょうか。
- ②ジェンダーに基づく無意識の思い込み解消に向け、若い世代には引き続き学校教育で啓発活動ができるが、瑞穂市には働いている世代（特に40～50代）が多いため、若い世代以外への普及方法をより考えていく。
- ③無意識の思い込みへの気づく幅を広くして、解消に向けた行動を推進する。
- ④無意識の偏見やそれまでのプロセス（形成）が人や社会に与える影響を理解するためのセミナーを開催して、考える機会を提供してほしい。
- ⑤無意識の偏見や思い込みへの気づきを促すことは、重要な課題。男女の能力の発揮や活動の選択を制限するものであると思います。
- ⑥アンコンシャス・バイアスの解消には、一旦、相手のバイアスを受け入れ尊重することが重要だと思います。「認知症の人が見ている世界」という本の考え方がとても参考になりました。
「これって私の偏見ですけど」という前置きを会話の枕詞にする。

基本目標Ⅱ 誰もが活躍できるまちづくり

2. 男性中心型労働慣行等の変革とワーク・ライフ・バランスの推進

⑩助成・奨励金制度等の周知

- ①女性が仕事と子育て、介護の両立ができる環境づくりを支援する。
- ②企業へのワークショップの開催、制度や助成金を活用して成功した企業の事例を公開して、効果やメリットへの関心を引き出してほしい。
- ③ワーク・ライフ・バランスの実現は、事業所の理解の促進や社会全体での意識の定着が重要であると思う。誰もが性別に関わらず仕事と育児、介護を両立できる意識改革が必要。
- ④駅、スーパー、大学等での情報の掲示。イベントの開催。助成金を活用してよかったという人の声を地域ラジオなどにのせて流す。

⑪働き方改革の推進

- ①働く人が自身が「〇〇したい」「〇〇してほしい」と声を上げられることが大切だと思います。企業、事業者の管理職の方への一層の啓発が必要と考えます。
- ②仕事と家庭生活を両立させるためには、働き方改革が必要となってくるため、加えても良いと思う。
- ③男女が家庭のことも果たせるように、職場でのワーク・ライフ・バランスの普及に努める。
- ④働く人が自分の生活スタイルや状況に応じて働き方を選べるように、テレワークやフレックスタイム制度の促進も重要です。
- ⑤企業が積極的に取り組めるように、支援できる体制づくりが必要かと思います。
- ⑥コロナ禍で広まったテレワークは働く時間や場所を柔軟かつ有効に活用できる働き方です。男性の育児などへの参画を促し、男性ものびのびと生きやすい社会を実現する。
- ⑦抜き打ち監査など、労働状況の厳しいチェックと指導。
コロナや溶連菌、感染症リスクの高い医療従事者が安心して働くことのできる保障厚くするべきだと思います。

基本目標Ⅲ 誰もが安心して暮らせるまちづくり

1. 家庭生活・地域生活における男女共同参画の推進

④だれもがともに介護を支える意識の啓発

- ①介護の必要性が発生しやすい50代が瑞穂市では多い人口構成となっている。女性だけでなく、男性の介護参画を促し、働く世代が介護に関われる社会への啓発をより行っていくとよいのではないか。
- ②2030年には5人に1人が認知症になると言われています。介護は老老介護になっていくと思う。
- ③介護の立場に共感し、理解を深めるための、実際の介護体験を共有するイベントや情報発信も必要と思います。
- ④教育現場の中で、この介護に関わる取り組みもできればと思います。
- ⑤介護を行う側よりも、介護される側も安心して暮らせる環境を整備するため、介護負担の軽減や取得しやすい介護休暇など、介護の担い手を支援する施策を充実させるとともに、高齢期において誰もが健康で自立した生活を送り、積極的に社会へ参画できる社会づくり。
- ⑥家族間においても「介護」を仕事とし、お金をもらう。そのことを家族で話し合うよう勧める。
隙間バイトアプリの「タイミー」のような隙間介護アプリシステムの開発。時間に余裕のある人に介護してもらうシステム。
介護従事者すべてに税の優遇措置のようなメリット、インセンティブを付与する。
ネット上で高齢者が幅広い世代と交流できる場所を作る。（DeNAの「趣味人倶楽部」、「ポケカラ」など既存の一般サービスを活用する。

基本目標Ⅲ 誰もが安心して暮らせるまちづくり

1. 家庭生活・地域生活における男女共同参画の推進

⑤子育てに参画できる環境づくりの推進

- ①子育て教室の日時について、今後も平日・土日の両方の設定があると参加しやすいと思います。
- ②共働き世帯が増えているため、参加しやすい時間帯に子育て教室を開催するのも良いと思うが、育児休暇の取得などの企業への協力要請も必要となってくるのではないか。
- ③父親が参加しやすい環境づくりにしてほしい。
- ④家族で参加できる遊びや絵本の読み聞かせ、クラフト作品の制作などの実践的なワークショップなどの開催に注力してほしい。
- ⑤家庭、学校、地域など社会のあらゆる分野において、性別に関わらず子どもの個性を伸ばし、相手を尊重する人権感覚を身に付ける教育を充実し、将来を担う人材を育てることが必要である。
- ⑥子どもがいない夫婦、カップル、孫がいない人が、子供と触れ合える保育園参観、学校参観などのような参加型イベントを実施する。
- ⑥父親を含めた家族が子育てに参加しやすくするのはもちろん、地域の人も「子育ては地域で」と思える環境や意識づくりも必要ではないかと思う。

基本目標Ⅲ 誰もが安心して暮らせるまちづくり

4. あらゆる暴力の根絶にむけた支援

③加害者にならないためのDV防止の意識啓発

- ①大人だけでなく中高生の間でも問題化しています。一般にデートDVに関する啓発動画がYouTube法務省チャンネルで公開されているので、紹介（広報などで）してはどうでしょうか。
- ②子どもの安全を1番を守る。
- ③加害者にならないために適切なコミュニケーションやストレス管理の方法を考える機会を提供していただきたいです。
- ④子ども、若年層への暴力や性犯罪は、家族をはじめとする近親者からの被害が多いことから、特に潜在化、深刻化しやすい傾向にある。
- ⑤多くの相談者、クレーマーに対応することが多いのが行政の窓口だと思うので、市役所内でクレームゼロを目指す。クレームの多い場所は鎮静作用のあるオイルなどを、ほのかに香らせる。クレームの多い現場には、スマイルマークを貼る。

③相談窓口の明確化と周知

- ①相談窓口を利用してもらい、他の方にも教えていくと良い。
- ②相談窓口の存在と利用方法が利用者に身近な存在と認識されるように、目立つ場所にリンクや情報を配置することが大切です。
- ③わかりやすいPRの仕方、広報ができるとういことと思います。
- ④DVをはじめセクハラ、性犯罪、ストーカー行為等の人権侵害に対する相談窓口の充実を図り、被害者がひとりで悩まず問題解決が図れる環境づくりに努めなければならない。
- ⑤現状のままでは無理だと思う。ハブとして機能する場所や人を増やす。
- ⑥加害者が、加害者であることを認識していなくて、DVが発生することもあると思うので、意識啓発はDV防止の基本だと思う。

3 ご提案いただいた「施策」

市提案分の他に、追加・修正をすべき具体的施策について、ご意見を頂戴しました。

委員からの提案 1

起業を目指す（する）女性への支援

起業したい、または目指している女性へ向けた情報支援と相談。

《後期計画への反映》

基本目標Ⅱ - 3 - (2) 多様な働き方の支援

具体的施策③ 女性の就業能力開発講座の充実・情報提供

▶「実施内容」に「起業を希望する女性を対象とした講座や起業相談などの情報を提供します。」を追記します。

委員からの提案 2

女性の視点を反映した避難所の整備

女性のニーズを捉えた避難所の体制づくりの強化

《後期計画への反映》

基本目標Ⅲ - 1 - (2) 防災・災害復興分野への女性の参画の拡大

具体的施策① 男女双方に配慮した地域防災（復興）の推進

▶「実施内容」に「女性の視点を取り入れた避難所運営に取り組みます」を追記します。

委員からの提案 3

ストーカー行為等による人権侵害に関する相談体制の充実

ストーカー、性犯罪に関する相談窓口の強化。

《後期計画への反映》

ストーカー被害および性犯罪被害に関しての相談窓口は、基本的に警察署です。これらに限らず人権被害に関する相談については、「基本目標Ⅰ」の「2.人権尊重意識の醸成」内、「③人権相談の実施」によって取り組んでいるところです。

なお、子ども支援課には女性相談員が在籍しており、DV関連業務において警察との連携を強化しています。ストーカー被害などの相談があった場合には、警察につなぐ窓口となります。

委員からの提案 4

ワークライフシナジーの推進

長時間労働や出世より、健康や生活を重視する方は増えてきている。そういう方向からのサポートができるよう、時代にあわせてシフトする。

《後期計画への反映》

ワーク・ライフ・シナジー

「ワーク・ライフ・バランス」は、仕事とプライベートのバランスを取ることが大事だとよく勘違いされますが、本来目指すべきなのはどちらも充実させることであり、天秤にかけることではありません。天秤にかけると、仕事を充実させればプライベートが犠牲になり、プライベートを充実させれば仕事が犠牲になります。「時間＝成果」（長時間労働が仕事の成果を上げる）と考えられていた時代は、「仕事優先」か「プライベート優先」のどちらかを選ばざるを得ないことが多く、これでも意味が通じていました。

しかし、「時間≠成果」の時代である今、二者択一ではなく、仕事とプライベートのどちらも充実させることが求められるようになり、ワーク・ライフ・バランスという言葉が時代にそぐわない面が出てきています。

ワーク・ライフ・バランスに代わる新しいキーワードとして、「ワーク・ライフ・シナジー」があります。ワーク・ライフ・シナジーは、仕事とプライベートどちらも充実させながら、両者が重なる部分からメリットを生み出そうとする状態をイメージしています。

（『朝日新聞SDGs ACTION』より抜粋）

- ▶ 第2次男女共同参画基本計画（現計画）では、「基本目標II」の「2. 男性中心型労働慣行の変革とワーク・ライフ・バランスの推進」において、具体的施策②「ワーク・ライフ・バランスの推進」を掲げています。また後期計画においては国、県計画に則り、本方針を継続していく必要があります。次期計画となる第3次男女共同参画基本計画の策定においては、国、県の動向を踏まえつつ「ワーク・ライフ・シナジー」のご意見を参考とさせていただきます。

第2次男女共同参画基本計画（後期計画）への意見書

①目標指標の数値修正について

成果指標	現状値	目標値	審議会委員意見												集計			結果
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	▲	－	▽	
1	9.5%	50.0%	－	▽	▽	－	－	－	▽	－	－	▲	▲	▽	2	6	4	維持
2	12回	5回	▲	▲	▲	▲	▲	－	－	▲	－	－	▲	▲	8	4	0	上方修正
3	50.3%	70.0%	－	－	▽	－	－	▲	▽	－	▲	▲	▲	▲	5	5	2	維持
4	4回	4回	▲	▲	－	▲	▲	－	－	▲	▲	－	－	▲	7	5	0	上方修正
5	25.2%	40.0%	－	－	▽	▲	－	－	▲	－	－	－	－	▲	3	8	1	維持
6	4人	0人	－	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	－	1	11	0	維持
7	19.1%	50.0%	－	▽	▽	－	－	－	▲	－	▽	－	▲	－	2	7	3	維持
8	25社	40社	－	－	▽	－	－	－	－	－	－	－	▲	▲	2	9	1	維持
9	28.3%	45.0%	－	－	▽	－	－	－	－	▽	－	－	▲	▲	2	8	2	維持
10	10人	15人	－	▽	－	－	－	－	－	▲	－	▲	－	▲	3	8	1	維持
11	4.8%	10.0%	－	－	－	▲	－	－	－	▲	－	▲	▲	▲	5	7	0	維持
12	38.3%	40.0%	▲	▲	－	－	－	▲	－	▲	▲	▽	－	－	5	6	1	維持
13	28.9%	30.0%	－	－	▲	▲	－	▲	－	▲	▲	－	－	－	5	7	0	維持
14	12人	25人	－	▽	▽	－	－	－	－	▲	－	－	▲	▲	3	7	2	維持
15	2回	3回	－	－	▲	－	－	－	－	▲	▲	▲	▲	▲	6	6	0	上方修正
16	50.0%	80.0%	－	▽	▽	－	－	－	－	－	－	▲	▲	▲	3	7	2	維持
17	26.5%	40.0%	▲	－	－	▲	－	－	－	－	▲	▲	▲	▲	6	6	0	上方修正

▲：上方修正 －：現状維持 ▽：下方修正